

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公表番号】特表2002-526550(P2002-526550A)

【公表日】平成14年8月20日(2002.8.20)

【出願番号】特願2000-574548(P2000-574548)

【国際特許分類】

C 0 7 J 9/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/575 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

【F I】

C 0 7 J 9/00

A 6 1 K 31/575

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 9/10 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

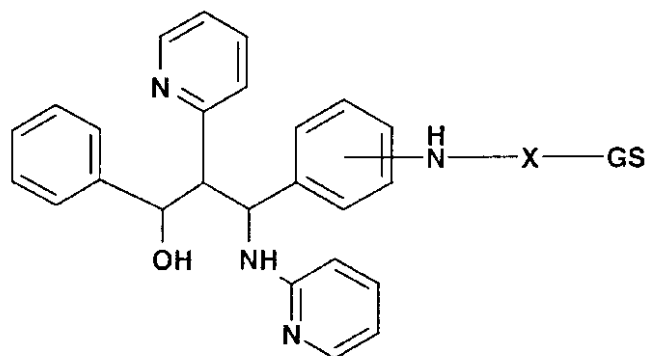
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

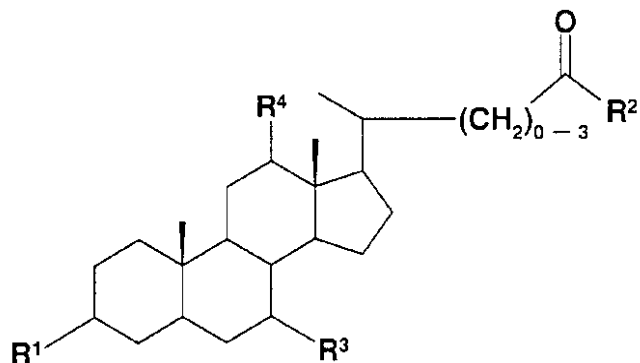
【請求項1】 式I

【化1】



[式中、GS は式

【化2】



の胆汁酸基であり、

R^1 は X との結合、OH であり；

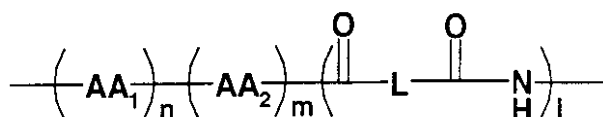
R^2 は X との結合、OH、O - (C₁ ~ C₆) - アルキル、NH - (C₂ ~ C₆) - アルキル - SO₃H、N(CH₃) - CH₂ - CH₂ - SO₃H、NH - (C₁ ~ C₆) - アルキル - COOH；N(CH₃) - (C₁ ~ C₆) - アルキル - COOH であるが、但し、

R^1 および R^2 は同時に、 R^1 が X との結合でありそして R^2 が X との結合であることはない；

R^3 、 R^4 は互いに独立して H、OH であり；

X は

【化 3】



または結合であり；

l、m、n は互いに独立して 0 または 1 であり；

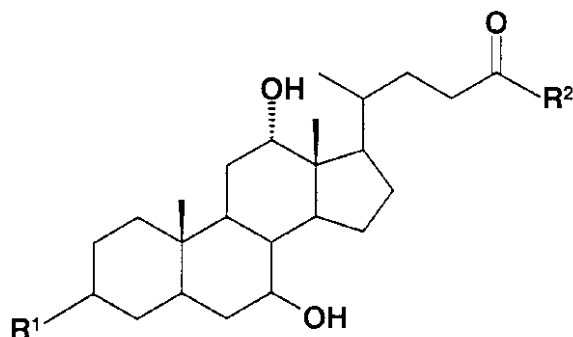
L は (C₁ ~ C₆) - アルキル、フェニルであり；

AA₁、AA₂ は互いに独立してアミノ酸基、あるいはアミノ酸保護基により単または多置換されたアミノ酸基である]

の化合物、その医薬上許容される塩および生理的に作用する誘導体。

【請求項 2】 GS は式

【化 4】



の胆汁酸基であり；

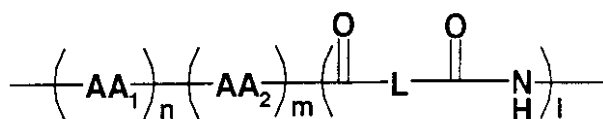
R^1 は X との結合、OH であり；

R^2 は X との結合、OH、O - (C₁ ~ C₆) - アルキル、NH - (C₂ ~ C₆) - アルキル - SO₃H、N(CH₃) - CH₂ - CH₂ - SO₃H、NH - (C₁ ~ C₆) - アルキル - COOH；N(CH₃) - (C₁ ~ C₆) - アルキル - COOH であるが、但し、

R^1 および R^2 は同時に、 R^1 が X との結合でありそして R^2 が X との結合であることはない；

X は

【化 5】



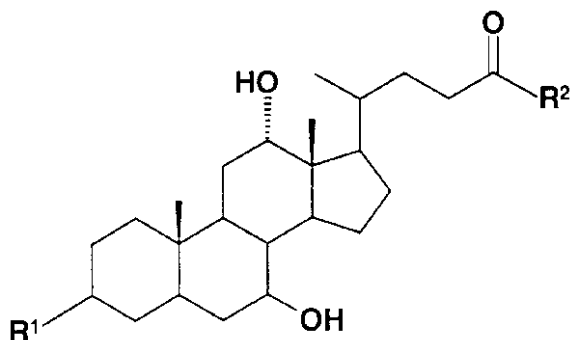
または結合であり；

l、m、n は互いに独立して 0 または 1 であり；

L は (C₁ ~ C₆) - アルキル、フェニルであり；

AA₁、AA₂ は互いに独立してアミノ酸基、あるいはアミノ酸保護基により単または多置換されたアミノ酸基である請求項 1 記載の式 I の化合物、その医薬上許容される塩および生理的に作用する誘導体。

【請求項 3】 GS は式
【化 6】



の胆汁酸基であり；

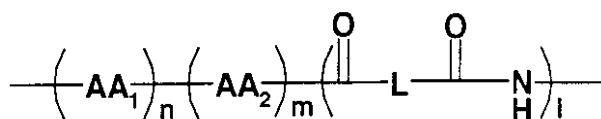
R¹ は X との結合、OH であり；

R² は X との結合、OH、O - (C₁ ~ C₆) - アルキル、NH - (C₂ ~ C₆) - アルキル - SO₃H、NH - (C₁ ~ C₆) - アルキル - COOH であるが、但し、

R¹ および R² は同時に、R¹ が X との結合でありそして R² が X との結合であることはない；

X は

【化 7】



または結合であり；

l、m、n は互いに独立して 0 または 1 であり；

L は (C₁ ~ C₆) - アルキル であり；

AA₁、AA₂ は互いに独立してアミノ酸基、あるいはアミノ酸保護基により単または多置換されたアミノ酸基である請求項 1 または 2 記載の式 I の化合物、およびその医薬上許容される塩。

【請求項 4】 請求項 1 ~ 3 の何れかの項記載の 1 種以上の化合物を含有する薬剤。

【請求項 5】 請求項 1 ~ 3 の何れかの項記載の化合物を含有する、高脂血症を治療するための薬剤。